

モバイルWiMAXの海外市場展望

～北米／欧州／アジアにおける主要オペレータの事業戦略と政策動向～

注目レポート、いよいよリリース



■3G標準勧告、アナログTV周波数開放、4GHz帯選定など、WiMAXが世界市場のメインストリーム技術へと発展する道が開かれました。スプリント・ネクステルとクリアワイヤーのWiMAX網共同構築が白紙となり、事業性に一時疑問が呈されたものの、グーグルの700MHz帯域獲得時にはWiMAXが採用され、AT&TもWiMAXをロードマップに組み入れるなど、WiMAX推進の動きは活発化しています。

■欧州では3.5GHz帯WiMAXが本格化、モバイルWiMAXへの2.5～2.6GHz周波数割り当てが検討されています。特に、英Ofcomによる3.5GHz帯許可は、他国への影響大でしょう。アジアでは、シンガポールやマレーシア、インド、パキスタンにおいて、モバイルWiMAX市場が形成されようとしています。

■本書は、世界的市場拡大局面を迎えたWiMAXについて、事業者動向や戦略、地域別規制政策を捉え、主要地域ごとにどのような市場形成がなされようとしているのかを明らかにしたものです。

■価格：99,750円(税込み価格／本体95,000円+税4,750円・翌日配達便送料サービス)

■お得意様優待：下記の場合、**本体価格より5,000円OFFの94,500円**でご提供(本体90,000円+税4,500円) ※購読者ご本人限定
→ワイヤレスブロードバンドシリーズ／米国通信総覧／モバイルインターネット要覧2006または2008をお申込済みのお客様


■発行日：2008年1月7日(第一版第1刷)

■企画発行：有限会社 情報流通ビジネス研究所・企画調査グループ

■体裁：A4変型判・全150ページ・表紙カラー印刷PP加工・本文カラー印刷・並製

■お申込み：下記のお申し込み書にご記入の上、弊社までFAXして下さい。確認のご連絡を致します。※書店ではお求めになれません

■お支払い：レポートと一緒にご請求書をお送りいたしますので、弊社指定口座まで代金をお振込み下さい

■お問合せ/お申込み先  情報流通ビジネス研究所 **TEL 046-271-2323 FAX 046-271-2324**
ワイヤレスブロードバンド担当 〒242-0006 神奈川県大和市南林間2-18-23長尾会計1F

レポートの内容につきましては、**ウラ面をご覧ください**

「モバイルWiMAXの海外市場展望」お申込書(※は必ずご記入下さい)

送信先FAX番号 046-271-2324

お申込日	年 月 日	お申込部数	冊	フリガナ	
※御社名				※ご購入者様名	
※部署名					
※所在地	〒 -				
ご購入者 連絡先	※ TEL			FAX	
	※ E-mail	※内容お問合せ時等に必要です			

通信欄 (ご購入者と請求書発送先が異なる場合のご担当者名/部署/ご連絡先や、お見積書が事前に必要な場合など、ご記入下さい)

WB4110108

モバイルWiMAXの海外市場展望～北米／欧州／アジアにおける主要オペレータの事業戦略と政策動向～ レポートの主な内容

第1章 モバイルWiMAX市場の最新動向と主要 이슈

- 1. ITUの3つのプレゼン:標準認証と周波数割り当て 11
- 2. EUの政策変化:2G周波数再配分と技術中立性 12
- 3. 米FCCの政策変化:700MHz競売推進とオープンアクセスの義務化 13
- 4. アジア各国の周波数割り当て 14
- 5. ベンダーの合従連衡、端末ラインナップの多様化 14

第2章 米国市場

- 1. スプリント・ネクステル 19
 - 1.1 WiMAXサービス「Xohm」の発表 19
 - (1) ネットワーク構築の現状および計画 20
 - (2) ベンダーの選定とパートナーシップ 21
 - 1.2 Xohm推進の背景とビジネスモデル 22
 - (1) 収益モデル 22
 - (2) 端末戦略 23
 - (3) サービス戦略 24
 - 1.3 提携戦略 25
 - (1) Clearwireとの提携開始から決裂 25
 - (2) グーグルとの提携とMobile2.0 27
 - 1.4 フェムトセル導入と無線データの3つのビジネスモデル 28
- 2. Clearwire 32
 - 2.1 WiMAX事業の推進過程 32
 - (1) 2003～2004年:インテルとの提携によるWiMAX事業加速 32
 - (2) 2005～2006年:インテルのWiMAXエコシステムにおける中核メンバーに浮上 33
 - (3) 2006～2007年:IPOを通じた資金調達とスプリントとの提携 34
 - 2.2 カバレッジ計画とサービス戦略 35
 - (1) 中小都市と非都心部に重点を置いたネットワーク構築 35
 - (2) モバイルWiMAXによるトリプルプレイ 37
 - 2.3 スプリントとの提携決裂のインパクトとその意味 37
- 3. AT&T 39
 - 3.1 WiMAX事業戦略とビジネスモデル 39
 - (1) 次世代技術ロードマップにおける重要ファクターとしてのWiMAX 39
 - (2) 基本的ビジネスモデル＝ルータエリアのDSL代替 40
 - 3.2 WiMAXサービスの現状 40
 - (1) 2.3GHzモバイルWiMAX商用化により業界が注目 40
 - (2) アラスカと米中南部地域から本格的商用化 41
 - 4. FCCの政策変化と予想されるインパクト 43
 - 4.1 FCCの基本的立場「無線ブロードバンドは情報サービス」 43
 - 4.2 700MHz周波数競売とオープン網規定 44
 - (1) 700MHz再配分の政策目標「3rd Pipe」 44
 - (2) 700MHz再配分の主要内容 45
 - (3) オープンネットワーク決定の背景と内容 45
 - (4) オープンネットワークの波及効果 46
 - 4.3 グーグルのモバイル市場参入インパクト 47
 - (1) 周波数競売に関するグーグルの立場 48
 - (2) グーグルがWiMAXを選択するしかない理由 49
 - (3) グーグルのWiMAX事業におけるビジネスモデルとインパクト 50

第3章 欧州市場

- 1. 欧州の無線ブロードバンド規制動向 55
 - 1.1 EUがリードするTV周波数帯域の開放と技術中立性政策 55
 - (1) EU新通信政策の要——V周波数開放と技術中立性 55
 - (2) TV周波数開放と技術中立性政策の最大受益者 56
 - 1.2 英OfcomのBWA周波数政策 58
 - (1) 3.5GHzで移動通信サービス許可——WiMAX拡大に追い風 58
 - (2) 技術中立性と2G周波数の3G再活用 59
 - 1.3 欧州主要国におけるBWA周波数政策の方向 60
 - (1) 2.6GHzWiMAXの商用化と技術中立性適用の試み 61
 - (2) 2GHz帯域のモバイルWiMAXに進む欧州BWA政策 62
- 2. WiMAX事業者動向と戦略 64
 - 1.1 BT 64
 - (1) 2.6GHz周波数競売に参加、MVNOも想定 64
 - (2) 差別化されたビジネスモデルは登場するか? 65
 - 1.2 UK Broadband 67
 - (1) Ofcomと摩擦、周波数の用途転換と出力増強 67
 - (2) サービスカバレッジと戦略——NOWブランドを伴いモバイルとして乗り出す 68
 - 1.3 Pipex Wireless 70
 - (1) Freedom4サービスの開始 70
 - (2) Freedom4の主な内容とWiMAX事業戦略 72
 - 1.4 ボーダフォン 73
 - (1) マルタで3.5GHz固定型WiMAXサービス開始 73
 - (2) バーレーンでの3.5GHz固定型WiMAXサービス 74
 - 1.5 DBD 75
 - (1) 3.5GHz全国ライセンス確保で事業拡大に狼煙 75
 - (2) WiMAX事業のコア戦略——VoIPをキラアプリケーションに 76
 - 1.6 Inquam Broadband 77
 - (1) 差別化された提携戦略で勝負をかける 77
 - (2) スイスWiMAX事業権確保——欧州市場で領域拡大 78
 - 1.7 Altitude Telecom 79
 - (1) フランスWiMAXの先駆者——WLLからWiMAXに事業転向 79
 - (2) 民官協力ベースの公営ビジネスモデルに注力 80
 - 1.8 Bollere Telecom 81

- (1) 無線LAN代替向けにWiMAX活用を模索 82
- (2) モトローラ、アルカテルとWiMAX商用化で協力 82
- 1.9 WiMAX Telecom 84
 - (1) 中東欧州のメジャーWiMAX事業者として浮上 84
 - (2) モバイルWiMAXでマイグレーションに主力 85
- 1.10 テレノール 85
 - (1) ノルウェー初の3.5GHzWiMAX商用化 86
 - (2) 2.3GHzモバイルWiMAX事業者NextGenTelとの競争 86

第4章 アジア市場

- 1. 韓国 91
 - 1.1 規制及び政策動向 91
 - (1) 「これから本番」のWiBro——VoIP許容も前向きに検討 91
 - (2) 国際標準の承認が政策の最大成果 92
 - 1.2 主要プレーヤー動向 94
 - (1) KT「WiBroはモバイル2.0」 94
 - (2) SKT、専業チーム構成してWiBro事業本格化 98
- 2. 台湾 100
 - 3.1 規制及び政策動向 100
 - (1) 新規事業者中心に6つの2.5GHzライセンス発給 100
 - (2) 政府主導の産業振興策「M-台湾」通じWiMAX商用化 101
 - 3.2 主要プレーヤー動向 103
 - (1) ファーイーストーン、インフラでノーテル・モトローラ・アルカテルと提携 103
 - (2) WiMAXネットワーク構築の資金調達に乗り出すFitel 104
- 3. マレーシア 105
 - 4.1 規制動向 105
 - (1) WiMAXはブロードバンド普及拡大の切り札 105
 - (2) 商用化に消極的な業者は排除 106
 - 4.2 主要プレーヤー動向 106
 - (1) 2007年内に2.5GHzWiMAX 商用化を試みるMaxis 107
 - (2) 2.3GHz 業者YTLE、政府ガイドライン厳守 107
- 4. インド 109
 - 5.1 規制動向 109
 - (1) 2.5GHzWiMAXライセンス、既存事業者中心に割り当て 109
 - (2) インテルのロビー活動、アメリカ-中国-インドを2.5GHzで連結 110
 - 5.2 主要プレーヤー動向 111
 - (1) WiMAXベンダー競争が激化するインド市場 112
 - (2) BSNL、2008年下半年に2.5GHzWiMAXを本格開始 112
 - (3) VSNL、2008年内に100都市へ3.3GHzWiMAX拡大 113
- 5. インドネシア 115
 - 6.1 規制動向 115
 - (1) 明確なWiMAX規制作りが急務——有力視される2.3GHz新規割り当て 115
 - (2) 2008年5月「インドネシア型WiMAX」を披露 117
 - 6.2 主要プレーヤー動向 118
 - (1) 2.5～5.8GHz周波数の保有企業がWiMAX潜在的事業者 118
 - (2) インドネシア初のWiMAX事業者を標榜するCSM 118
- 6. シンガポール 120
 - 7.1 規制動向 120
 - (1) iN2015プロジェクト、無線ブロードバンドのメイン技術で活用 120
 - (2) WISEPORTプロジェクトにおける公営WiMAXビジネスモデル 121
 - 7.2 主要プレーヤー動向 121
 - (1) QMax、Naviniの装備で2.3GHzPreWiMAXサービス開始 121
 - (2) Pacnet、インテルとMOU——公共安全用ビジネスモデル協力 122
- 7. 中国 123
 - 8.1 規制動向 123
 - (1) モバイルWiMAX否定、TD-SCDMA活性化優先 123
 - (2) 北京オリンピックでチャイナ・モバイルにWiMAX許容 124
 - 8.2 主要プレーヤー動向 125
 - (1) 3.5GHz固定型WiMAXをテストする6事業者 125
 - (2) 中国WiMAX市場に進出するインフラベンダー 126
- 8. ウズベキスタン 128
 - 9.1 規制動向 128
 - 9.2 主要プレーヤー動向 128
 - (1) ウズベキスタン市場を先行確保したロシア系事業者 129
 - (2) 韓国KTによるWiMAXベースのトリプルプレイ戦略 130

第5章 グローバルWiMAX市場展望

- 1. 地域別市場展望 133
 - 1.1 アメリカ市場 133
 - (1) 事業者動向:2.5GHzモバイルWiMAXが大勢 133
 - (2) 市場の展望:700MHz周波数競売とスプリントの去就が分水嶺 134
 - 1.2 欧州市場 135
 - (1) 事業者動向:3.5GHz固定型からモバイルへアップグレード中 135
 - (2) 市場の展望:3.5GHzと2.5GHzが競合 136
 - 1.3 アジア市場 137
 - (1) 事業者動向:モバイルWiMAX直行が大勢 138
 - (2) 市場の展望:2.5GHzが優勢、中国が拡大変数 140
- 2. 需要別市場展望 141
 - 2.1 Fixed to Mobile市場 141
 - 2.2 Fixed and Mobile市場 142
 - 2.3 Mobile and Fixed B市場 143